

平成25年度学校基本調査結果

中学校の生徒数は増加、小学校、高等学校、幼稚園は減少

— 大学等進学率は64.8%、率は低下するも進学者数は増加 —

はじめに

学校基本調査（統計法に基づく基幹統計調査）は、学校数、学級数、児童・生徒・園児数、教員数及び卒業後の状況など学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、文部科学省が都道府県を通じて、昭和23年から毎年5月1日現在の状況を調査しています。

平成25年度の調査結果から府内の高等教育機関（大学、大学院、短期大学及び高等専門学校）を除く各学校の概要についてお知らせします。

1 学校調査

小学校

小学校数は、公立校の新設1校・廃校9校により420校（国立2校、公立408校、私立10校）で、前年度より8校減となっています。

児童数は、昭和56年度の25万1997人をピークに減少傾向にあり、平成14年度まで減少しました。その後は対前年度比1%前後の幅で増減していましたが、25年度は13万3804人（男子6万8271人、女子6万5533人）で、前年度より1624人、1.2%の減少となり、過去最少を更新しました。（表1）

24年度間の長期欠席者（30日以上欠席者）数は1012人で、23年度間より7人、0.7%増加しています。このうち不登校を理由とする長期欠席者数は405人（前年度間370人）となっています。（表2）

表1 小学校の児童数等の推移

区分 年度	学校数	児童数	本務教員数	教員1人当 たり児童数
	校	人	人	人
昭和30年度	454	246,607	6,874	35.9
35	445	226,306	6,794	33.3
40	430	164,448	6,010	27.4
45	440	177,977	6,725	26.5
50	468	209,144	8,115	25.8
55	487	249,547	9,550	26.1
60	497	231,663	9,320	24.9
平成2年度	500	186,275	8,772	21.2
7	473	162,663	8,305	19.6
21	445	140,729	8,723	16.1
22	441	139,582	8,751	16.0
23	432	137,409	8,753	15.7
24	428	135,428	8,744	15.5
25	420	133,804	8,624	15.5

表2 小学校の理由別長期欠席者数 (単位：人)

	計	病 気	経済的理由	不登校	その他
30日以上欠席者数					
平成23年度間	1,005	257	—	370	378
24年度間	1,012	283	—	405	324

注 不登校とは何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景（「病気」や「経済的理由」による場合を除く）による長期欠席をいいます。

中学校

中学校数は、公立の廃校1校により203校（国立2校、公立175校、私立26校）で前年度より1校減となっています。

生徒数は、昭和61年度の12万8079人をピークに減少傾向にあり、平成18年度で過去最少の7万132人となりました。25年度は7万2721人（男子3万6597人、女子3万6124人）で、前年度より339人、0.5%の増加となっています。（表3）

24年度間の長期欠席者（30日以上欠席者）数は2415人で、23年度間より27人、1.1%減少しています。このうち不登校を理由とする長期欠席者数は1824人で23年度間より10人、0.6%増加しています。（表4）

表3 中学校の生徒数等の推移

年度	区分		生徒数	本務教員数	教員1人当 たり生徒数
	学校数	校			
昭和30年度	177	人	121,131	4,012	30.2
35	172	人	116,817	4,039	28.9
40	166	人	100,435	4,409	22.8
45	166	人	79,220	3,923	20.2
50	177	人	87,760	4,397	20.0
55	190	人	101,790	4,987	20.4
60	200	人	125,378	5,893	21.3
平成2年度	209	人	110,213	5,886	18.7
7	206	人	89,474	5,303	16.9
21	204	人	72,024	5,224	13.8
22	204	人	71,378	5,267	13.6
23	203	人	72,557	5,367	13.5
24	204	人	72,382	5,391	13.4
25	203	人	72,721	5,429	13.4

表4 中学校の理由別長期欠席者数 (単位：人)

	計	病 気	経済的理由	不登校	その他
30日以上欠席者数					
平成23年度間	2,442	277	—	1,814	351
24年度間	2,415	279	—	1,824	312

注 表2の注に同じ

高等学校

高等学校数は104校（国立1校、公立63校、私立40校）で前年度と同数となっています。

生徒数は、平成元年度の12万4262人をピークに減少傾向で、25年度は7万1047人（男子3万5490人、女子3万5557人）で、前年度より856人、1.2%減少しています。（表5）

本科の生徒数は7万946人で、課程別にみると全日制6万9568人、定時制1378人となっています。専攻科の生徒数は101人です。

また、学科別生徒数（専攻科を除く）は、普通科5万8440人（構成比82.4%）、工業科2181人（同3.1%）、総合学科2022人（同2.9%）、商業科1420人（同2.0%）、農業科1062人（同1.5%）、水産科275人（同0.4%）、情報科221人（同0.3%）、家庭科86人（同0.1%）、看護科243人（同0.3%）、福祉科114人（同0.2%）、その他の専門教育（理数関係、音楽・美術関係など）4882人（同6.9%）となっています。

表5 高等学校の生徒数等の推移

年度	区分		生徒数	本務教員数	教員1人当 たり生徒数
	学校数	府立			
昭和30年度	87	校	62,630	2,800	22.4
35	88	校	78,682	3,287	23.9
40	93	校	118,426	4,642	25.5
45	90	校	83,509	4,290	19.5
50	92	校	85,088	4,629	18.4
55	99	校	94,025	5,127	18.3
60	103	校	107,512	5,614	19.2
平成2年度	104	校	124,020	6,131	20.2
7	105	校	100,168	5,899	17.0
21	105	校	70,272	5,199	13.5
22	105	校	71,408	5,210	13.7
23	105	校	71,092	5,184	13.7
24	104	校	71,903	5,254	13.7
25	104	校	71,047	5,192	13.7

特別支援学校

特別支援学校数は、公立の新設1校により25校（国立1校、公立24校）で、前年度より1校増となっています。在学者数は2585人（前年度在学者数2570人）です。（表6）

表6 特別支援学校の在学者数等の推移

区分 年度	学校数	在学者数	本務教員数	教員1人 当たり 在学者数
昭和35年度	5	659	128	5.1
40	5	680	150	4.5
45	8	959	254	3.8
50	11	1,383	433	3.2
55	18	2,104	822	2.6
60	21	2,485	1,039	2.4
平成2年度	22	2,479	1,126	2.2
7	22	2,239	1,268	1.8
21	23	2,283	1,663	1.4
22	24	2,394	1,709	1.4
23	24	2,472	1,756	1.4
24	24	2,570	1,801	1.4
25	25	2,585	1,797	1.4

注 平成19年4月1日から盲学校、聾学校及び養護学校が特別支援学校に一本化されました。平成18年度以前の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計値です。

幼稚園

幼稚園数は229園（国立1園、公立67園、私立161園）で前年度と同数となっています。

園児数は、昭和53年度の5万5822人をピークとして減少傾向で、25年度は2万8817人（男子1万4622人、女子1万4195人）で、前年度より785人減少し、9年連続減少しました。

入園者数は9408人となっており、入園年齢は3歳児入園7827人（構成比83.2%）、4歳児入園1298人（同13.8%）、5歳児入園283人（同3.0%）となっています。

なお、修了者数は1万830人で、前年度より320人増加し、就園率も49.3%と、前年度に比べ0.8ポイント上昇しています。（表7）

また、編制方式については、1年教育を行っている園は4園（構成比1.8%）、2年教育を行っている園は22園（同10.1%）、3年教育を行っている園は192園（同88.1%）となっています（休園中11園を除く）。

表7 幼稚園の園児数等の推移

区分 年度	園数	園児数	本務教員数	教員1人当 たり園児数	就園率
昭和30年度	園	人	人	人	%
35	158	21,634	835	25.9	36.1
40	183	20,184	826	24.4	47.5
45	186	28,457	1,082	26.3	57.1
50	217	41,312	1,553	26.6	64.6
55	242	53,060	1,976	26.9	68.1
60	272	51,950	2,188	23.7	65.1
平成2年度	279	39,706	1,984	20.0	60.5
7	266	38,134	2,017	18.9	59.0
21	253	33,350	1,951	17.1	57.1
22	231	30,933	2,201	14.1	50.3
23	229	30,377	2,222	13.7	49.8
24	228	30,099	2,216	13.6	49.5
25	229	28,602	2,237	13.2	48.5
25	229	28,817	2,240	12.9	49.3

注 就園率＝幼稚園修了者数÷（本年度）小学校1年生の総数×100

専修学校・各種学校

専修学校数は、私立の2校新設により66校（公立4校、私立62校）で前年度より2校増となっています。

生徒数は、1万5127人（男子7501人、女子7626人）で、前年度より226人、1.5%増加しています。

分野別では、医療関係4884人（構成比32.3%）、工業関係が3438人（同22.7%）、文化・教養関係2717人（同18.0%）の順となっており、前年度と同様となっています。なお、医療関係の中では看護2332人、工業関係の中では情報処理1198人、文化・教養関係の中では受験・補習1110人が最も多くなっています。

各種学校数は56校（私立56校）で、前年度と同数となっています。

生徒数は5074人（男子2329人、女子2745人）で、前年度より93人、1.9%増加しています。

分野別では、文化・教養関係2546人（構成比50.2%）、その他2379人（同46.9%）の順となっています。その他の内訳をみると、自動車操縦911人（構成比18.0%）、予備校883人（同17.4%）、外国人学校520人（同10.2%）の順となっています。（表8）

表8 専修学校・各種学校の生徒数等の推移

年度	専修学校		各種学校	
	学校数	生徒数	学校数	生徒数
昭和30年度	校	人	校	人
35	・	・	237	32,248
40	・	・	202	38,686
45	・	・	183	46,384
50	・	・	183	41,632
55	52	10,146	125	26,935
60	63	17,385	107	17,221
平成2年度	70	19,866	96	15,860
7	64	17,822	75	12,913
21	64	13,643	59	5,657
22	65	14,274	57	5,243
23	65	14,882	56	5,158
24	64	14,901	56	4,981
25	66	15,127	56	5,074

注 専修学校は、昭和51年度から設置されました。

2 卒業後の状況調査

中学校

平成25年3月の卒業生数は2万3751人（男子1万2094人、女子1万1657人）で、前年より526人、2.2%減少しています。

高等学校等進学率（就職進学者を含む）は99.0%（2万3519人）、就職率（就職進（入）学者を含む）は0.2%（55人）となっています。（表9）

高等学校

平成25年3月の卒業生数は、2万3240人（男子1万1531人、女子1万1709人）で、前年より1020人、4.6%増加しています。

大学・短期大学等進学率（就職進学者を含む）は64.8%（1万5069人）となっています。また専修学校（専門課程）への進学率（就職進学者を含む）は14.4%（3350人）、就職率（就職進（入）学者を含む）は8.4%（1956人）となっています。（表10）

また、本年3月卒業生のうち、大学・短期大学への入学志願者数は1万6922人となり、全体の72.8%が志願しています。

産業別の就職者数は、製造業636人（構成比32.5%）、宿泊業、飲食サービス業210人（同10.7%）、卸売業、小売業195人（同10.0%）、医療、福祉167人（同8.5%）、公務138人（同7.1%）、運輸業、郵便業134人（同6.9%）、建設業132人（同6.7%）、生活関連サービス業、娯楽業112人（同5.7%）などとなっています。

就職者総数のうち、府外へ就職した者は349人（構成比17.8%）となっており、大阪府157人（府外への就職者中の構成比45.0%）、兵庫県67人（同19.2%）、東京都27人（同7.7%）、滋賀県22人（同6.3%）、奈良県14人（同4.0%）などとなっています。

特別支援学校

平成25年3月の中学部卒業生数は189人となっています。そのうち186人（98.4%）が進学しており、大部分が各学校の高等部へ進学しています。

平成25年3月の高等部卒業生数は388人となっています。大学等進学者数は2人（進学率0.5%）となっています。

また、就職者数は100人（就職率25.8%）となっています。

3 学校通信教育調査（高等学校）

通信課程をもつ学校は、併置校6校（公立2校、私立4校）、協力校4校となっています。

生徒数は1817人（男子912人、女子905人）で、前年度より32人増加しています。年齢別にみると、15～19歳は1351人、20～29歳は359人、30～39歳は55人、40～49歳は36人、50～59歳は6人、60歳以上は10人となっています。

平成24年度間の卒業生数は359人となっており、進路別にみると、大学等進学者72人（構成比20.1%）、専修学校（専門課程）進学者22人（同6.1%）、就職者（就職進（入）学者を含む）19人（同5.3%）、上記以外の者246人（同68.5%）となっています。

表9 進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

区 分	卒業生数	高等学校 等進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業能 力開発施設 等入学者	就職者	左記以 外の者	死亡・ 不詳 者	B～Eのうち 就職してい る者(再掲)	高等学校 等進学率	専修学校 (高等課程) 進学率	専修学校 (一般課程) 等入学率	就職率
	A(B～H)	B	C	D	E	F	G	H	I	B/A	C/A	D/A	(F+I)/A
平成21年3月	23,186	22,822	26	12	2	99	225	-	5	98.4	0.1	0.1	0.4
22	24,405	24,043	30	24	1	92	212	3	5	98.5	0.1	0.1	0.4
23	23,421	23,177	25	9	1	42	167	-	-	99.0	0.1	0.0	0.2
24	24,277	24,024	31	13	1	51	157	-	-	99.0	0.1	0.0	0.2
25	23,751	23,519	14	7	-	54	157	-	1	99.0	0.1	0.0	0.2

注 高等学校等進学者とは、高等学校（通信制課程を含む）及び高等専門学校等への進学者（就職進学者を含む）をいい、専修学校（一般課程）等入学者とは、専修学校（一般課程）及び各種学校への入学者をいいます。

表10 進路別卒業生数（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	卒業生数	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業能 力開発施設 等入学者	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以 外の者	死亡・ 不詳 者	B～Eのうち 就職してい る者(再掲)	大学等 進学率	専修学校 (専門課程) 進学率	専修学校 (一般課程) 等入学率	就職率
	A(B～I)	B	C	D	E	F	G	H	I	J	B/A	C/A	D/A	(E+I)/A
平成21年3月	22,446	14,775	2,681	1,383	87	2,192	319	1,008	1	6	65.8	11.9	6.2	9.8
22	22,209	14,869	2,640	1,279	101	1,875	294	1,140	11	10	67.0	11.9	5.8	8.5
23	22,529	14,898	2,957	1,218	94	1,830	328	1,204	-	10	66.1	13.1	5.4	8.2
24	22,220	14,754	2,998	1,083	91	1,841	273	1,180	-	4	66.4	13.5	4.9	8.3
25	23,240	15,069	3,350	1,161	100	1,953	327	1,278	2	3	64.8	14.4	5.0	8.4

注1 大学等進学者とは、大学・短期大学（通信教育部を含む）及び高等学校専攻科等への進学者（就職進学者を含む）をいい、専修学校（一般課程）等入学者とは、専修学校（一般課程）及び各種学校への入学者をいいます。

2 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者（例 アルバイト、パート等）をいい、平成16年度調査より追加されました。